

東邦銀行のあゆみ

東邦銀行は、1941年(昭和16年11月4日)に前身の郡山商業銀行、会津銀行、白河瀬谷銀行の3行が合併し創立されました。

創立にあたって「東から光を背負って進む、発展する銀行」という願いが込められ「東邦銀行」と命名されました。以来、地域の発展とお客さまの豊かなくらしづくりに貢献し、着実に成長を続け、2021年11月には創立80周年を迎えます。



当行の企業理念は、主たる営業基盤である「ふくしま」の発展のため、新しい感覚と柔軟な発想のもと、常に「お客さまの視点」に立った質の高い金融サービスを提供するために汗を流し、地域金融の担い手としての役割を果たすというものであり、こうした地域金融機関としての役割・使命を念頭に、地域の活性化、そして地域経済の発展に貢献してまいります。

企業理念

社会的使命

地域を見つめ、地域とともに

私たちは、地域を見つめ、地域とともに歩み、総合的な金融サービスをもって「ふくしま」の発展とお客さまの豊かなくらしづくりにために力を尽くします。

経営姿勢

お客さまの満足のために

私たちは、進取・積極の精神と健全な姿勢を基本とし、心が通いあう活きた組織をもってお客さまの満足のために汗を流します。

行動規範

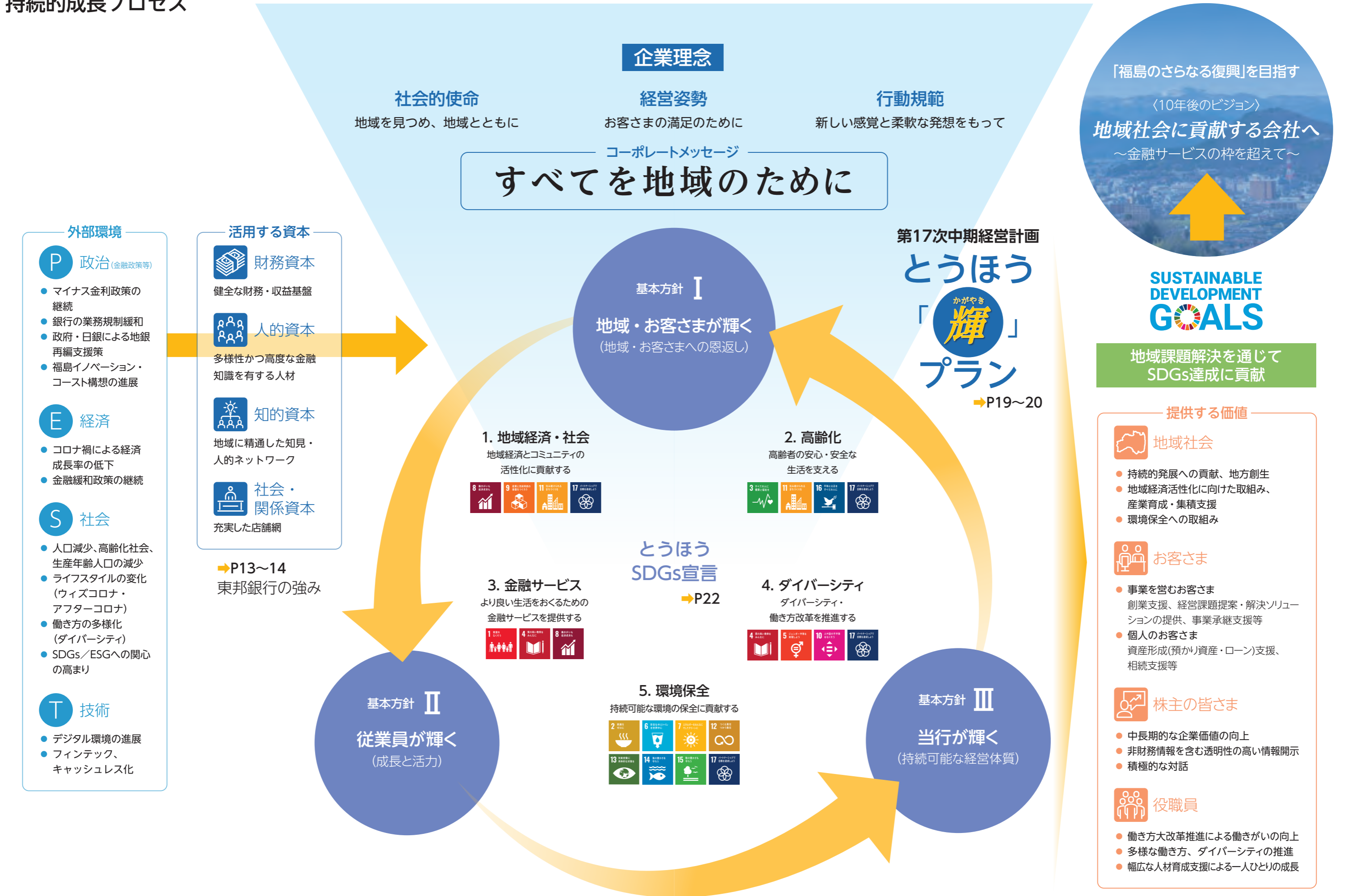
新しい感覚と柔軟な発想をもって

私たちは、ふるさと「ふくしま」を愛し、新しい感覚と柔軟な発想をもって自分を磨き、お客さまの信頼に応えることを喜びとします。

コーポレートメッセージ

すべてを地域のために

東日本大震災ならびに原子力発電所事故からの復興、そして福島県を中心とする「地域」への支援姿勢を明確にするため、コーポレートメッセージとして制定しました。これからも「すべてを地域のために」尽くしてまいります。



イントロダクション

東邦銀行グループについて

持続的成長に向けた戦略

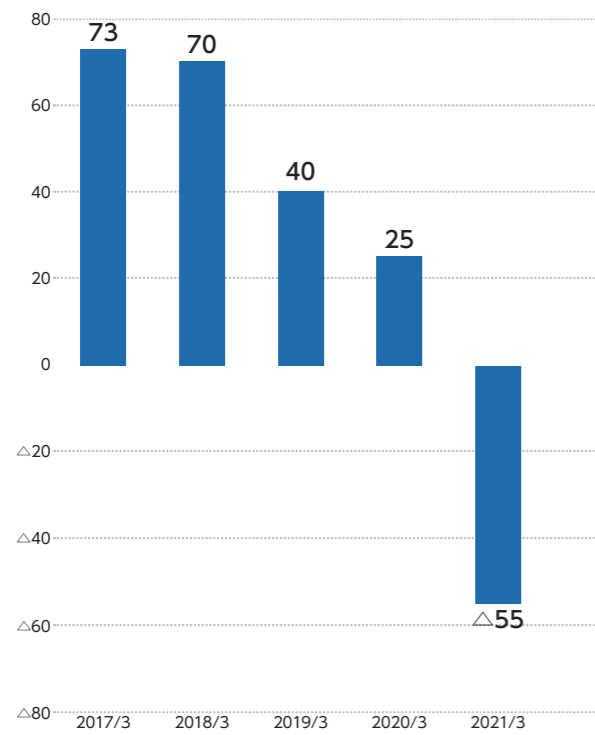
持続的成長に向けた社会課題への取組み

持続的成長を支える基盤

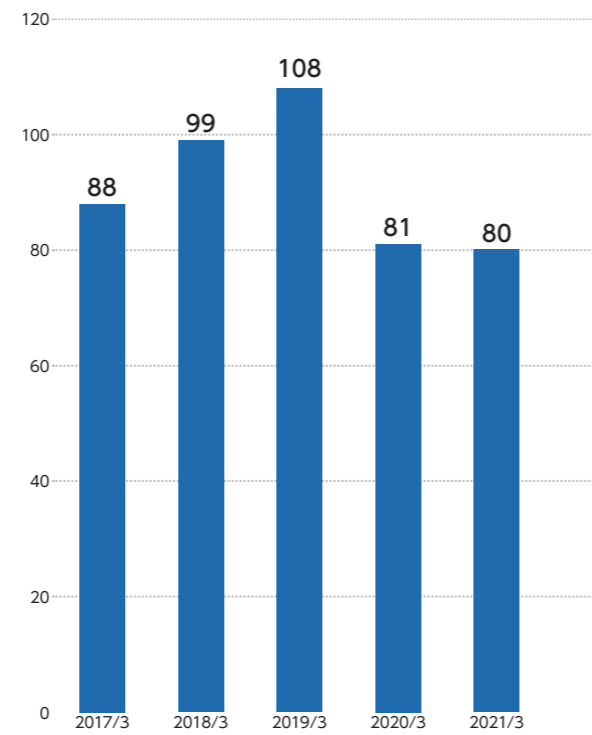
コーポレートデータ

財務ハイライト

当期純利益(単体) (億円)

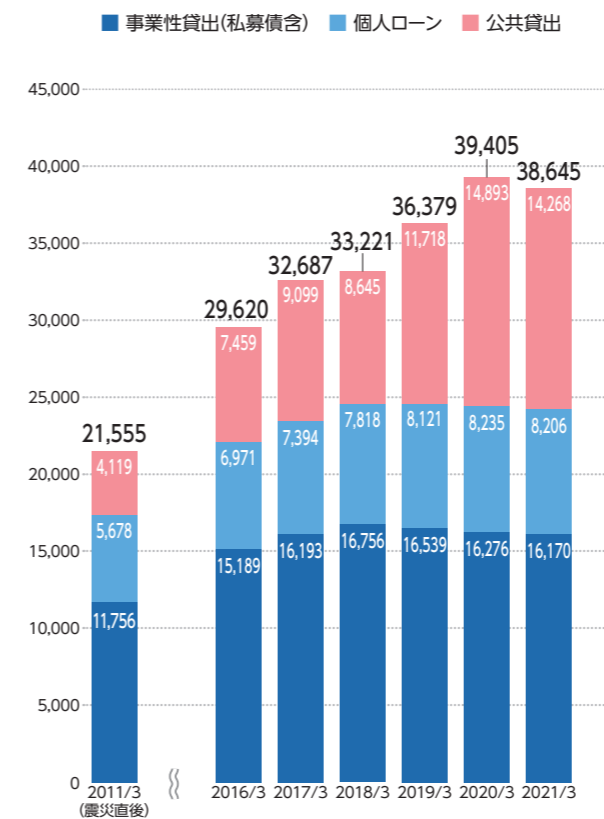


コア業務純益(単体) (億円)

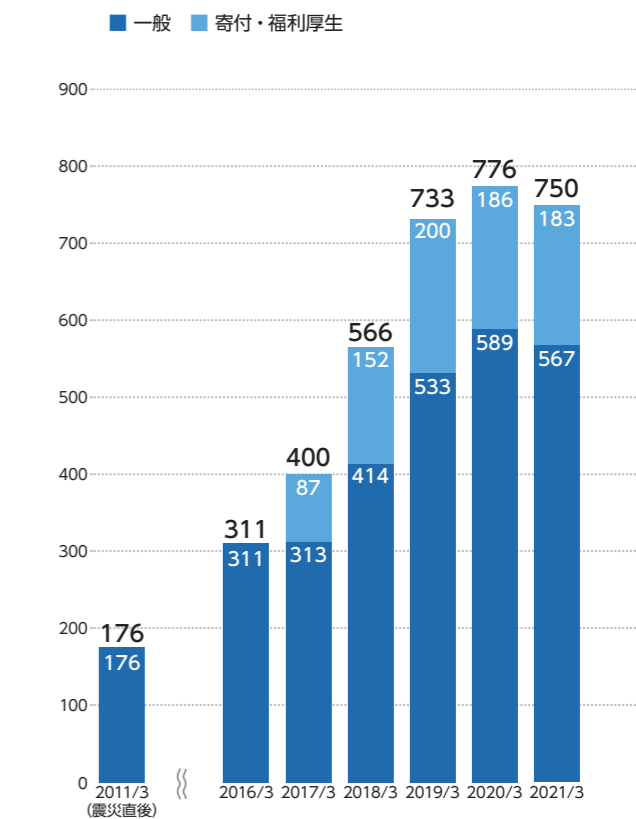


コア業務純益
業務粗利益から国債等債券損益を控除し、人件費や物件費などの経費を差し引いた銀行本来の業務から得られる利益

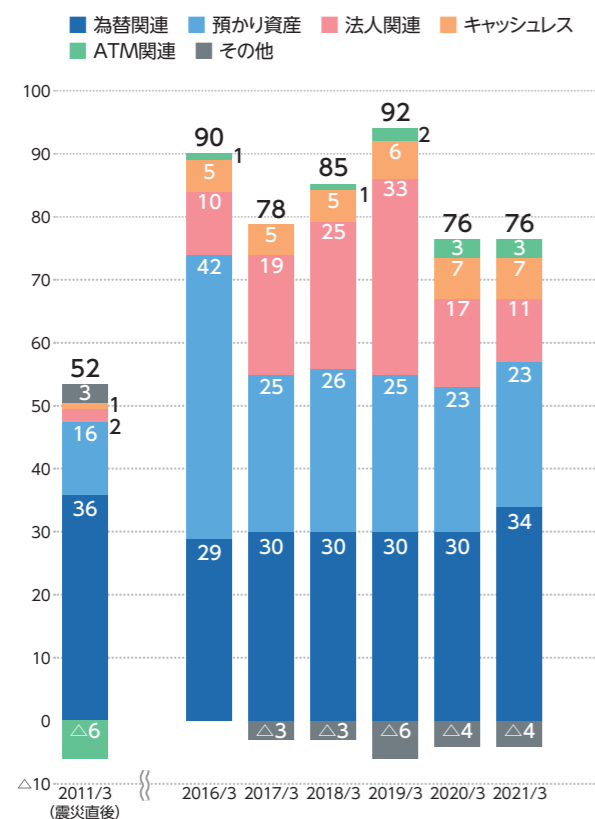
貸出金残高 (億円)



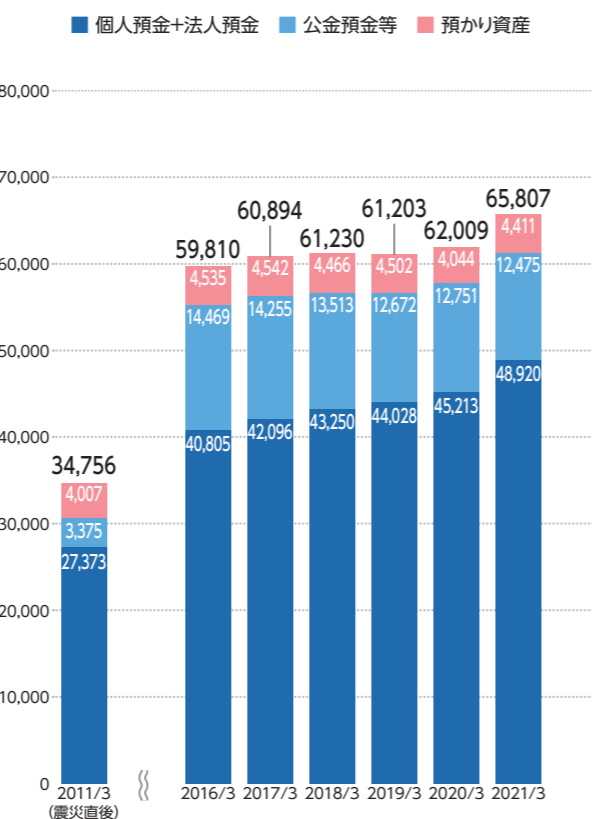
私募債残高 (億円)



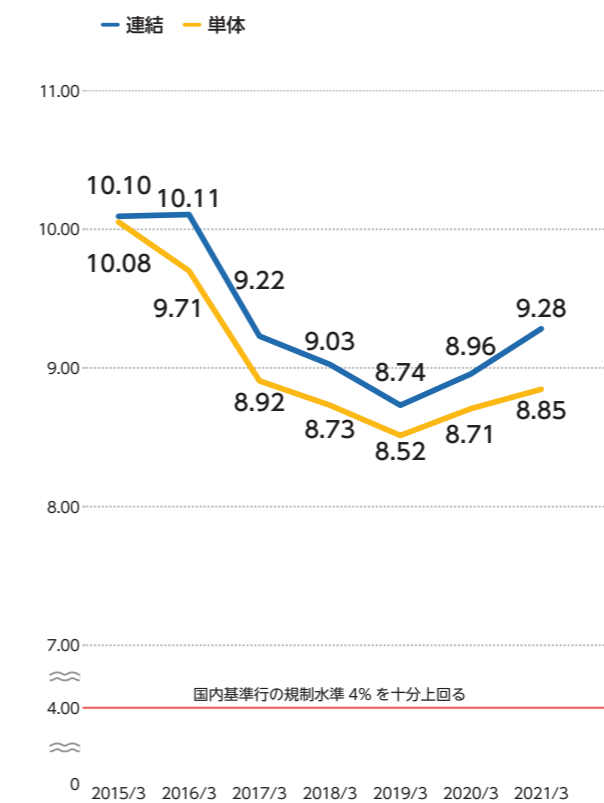
役員取引等利益 (億円)



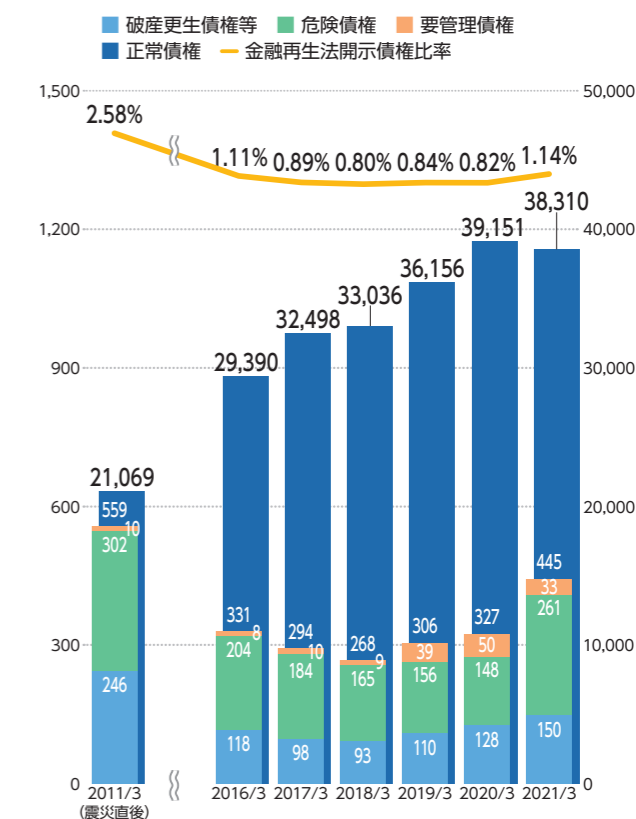
総預かり資産 (億円)



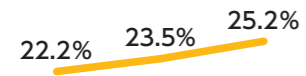
自己資本比率 (%)



金融再生法開示債権 (億円)



温室効果ガス排出削減率

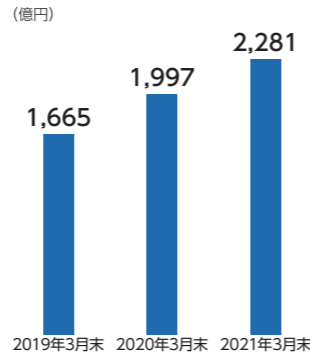


25.2%

2013年度と
2020年度の比較

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

再生可能エネルギー融資実行累計金額

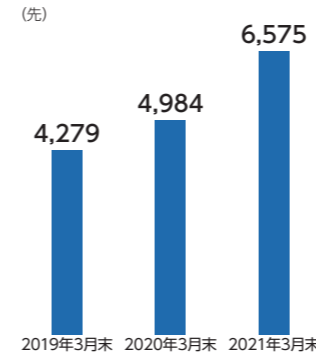


2,281億円

2021年3月末

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

事業性評価先数

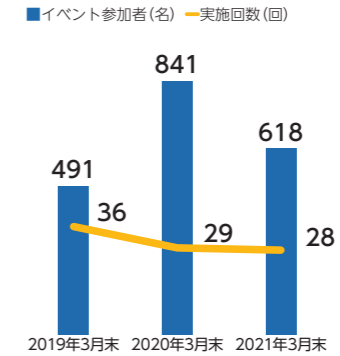


6,575先

2021年3月末

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

金融教育イベント参加者／実施回数

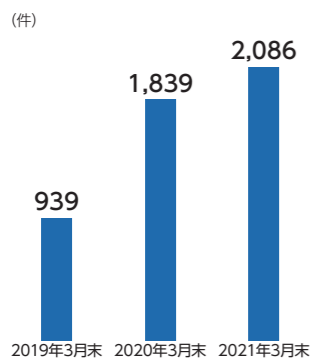


**618名
28回**

2020年度実績
小・中・高・大学生向け

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

ビジネスマッチング成約件数

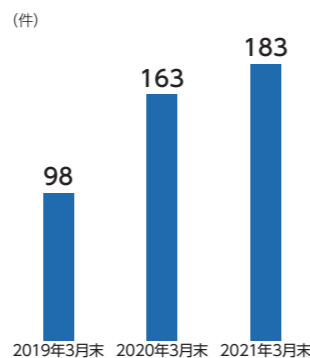


2,086件

2020年度実績

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

M&A相談対応件数

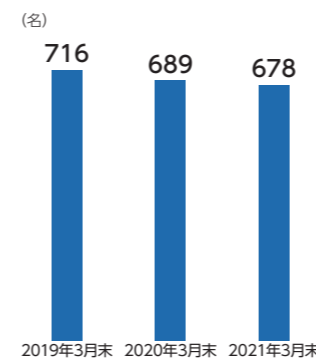


183件

2020年度実績

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

事業承継・M&Aエキスパート

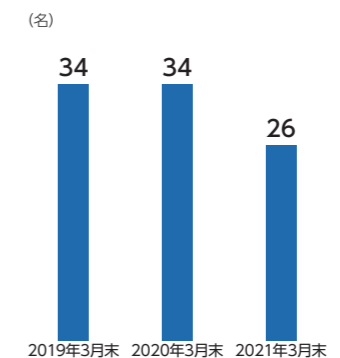


678名

2021年3月末

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

外部トレーニー派遣実績



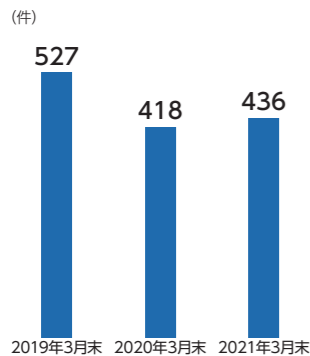
26名

2020年度実績

官公庁、民間企業、
海外金融機関ほか

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

事業承継相談対応件数

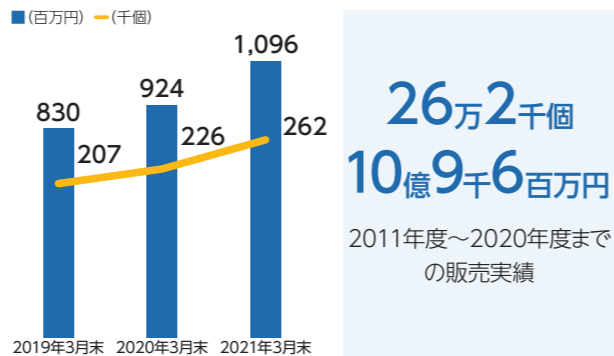


436件

2020年度実績

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

福島県産品通信販売実績(協賛・協力)

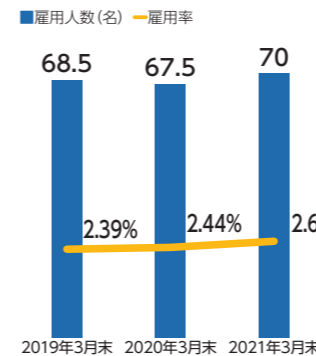


**26万2千個
10億9千6百万円**

2011年度～2020年度まで
の販売実績

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

障がい者雇用

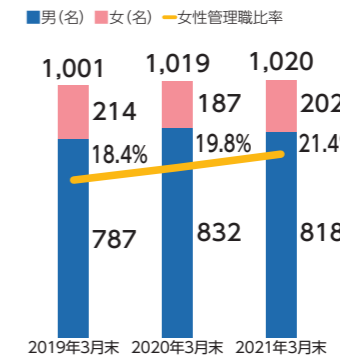


**70人
2.61%**

2021年3月末

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

女性管理職

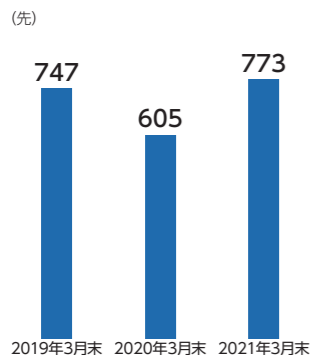


**202名
21.4%**

2021年3月末

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

創業支援先数

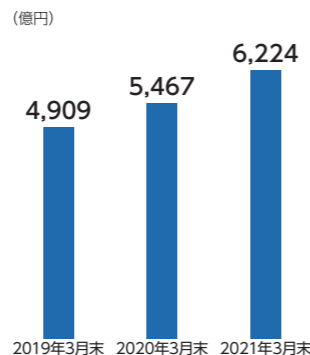


773先

2020年度実績
創業期のお客さまへの
新規ご融資等

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

事業性評価先貸出残高

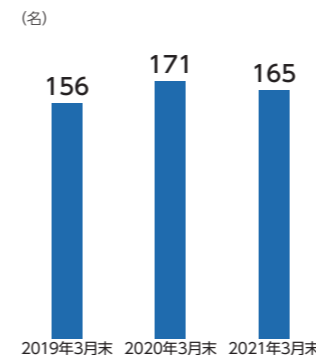


6,224億円

2021年3月末

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

60歳～70歳までの就業者数

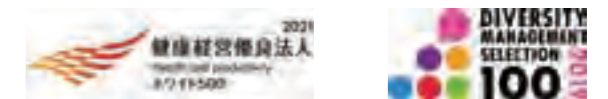


165名

2021年3月末

2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

外部からの評価



従業員の健康管理に戦略的に取り組む特に優良な事業者として「健康経営優良法人2021」に認定(2018年度以降4年連続で認定)

働き方大改革ならびに人材育成への継続した取り組みが評価され、「新・ダイバーシティ経営企業100選」を受賞

東邦銀行の強み

東邦銀行グループは、財務資本、知的資本、社会関係資本、人的資本等の経営資源を最大限に活用し、地域のお客さまへ価値を提供することにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

〈特に注記のないものについては、2021年3月末または2019年度実績〉

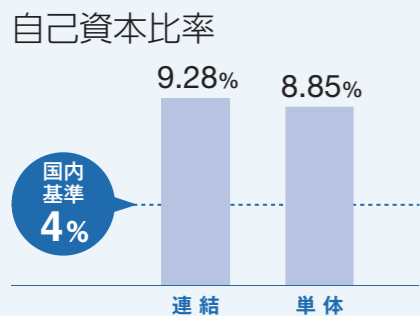
財務資本

■健全な財務・収益基盤

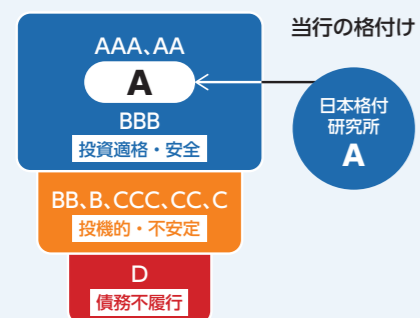
総資産
6兆7,923億円(連結)

預金
5兆7,908億円(単体)

貸出金
3兆8,645億円(単体)
(私募債含)



■長期発行体格付



知的資本

■幅広い金融関連サービス

グループ会社数 **7**社

(とうほう証券株式会社、東邦リース株式会社、株式会社東邦カード、株式会社東邦クレジットサービス、東邦信用保証株式会社、東邦情報システム株式会社、株式会社とうほうスマイル)

■信託機能を活用した
相続・贈与コンサルティング

- 銀行本体での「遺言信託・遺産整理業務」の取扱いは東北の地方銀行で唯一

信託関連相談対応件数 2020年度 **1,030**件

相談累計件数 **4,954**件

■地域に精通した知見

東日本大震災からの復興を通じた事業再生・経営改善支援のノウハウ

- 地域経済活性化支援機構や福島県中小企業再生支援協議会、東日本大震災事業者再生支援機構等の活用
- ビジネスモデルマップの作成による事業性評価を通じた経営改善支援等

■TSUBASAアライアンス

(地方銀行10行が参加する広域連携の枠組み 2015年10月発足)

- フィンテックや事務・システム共同化、相続関連業務、国際業務など、参加行のグループ会社を含め幅広い分野で連携

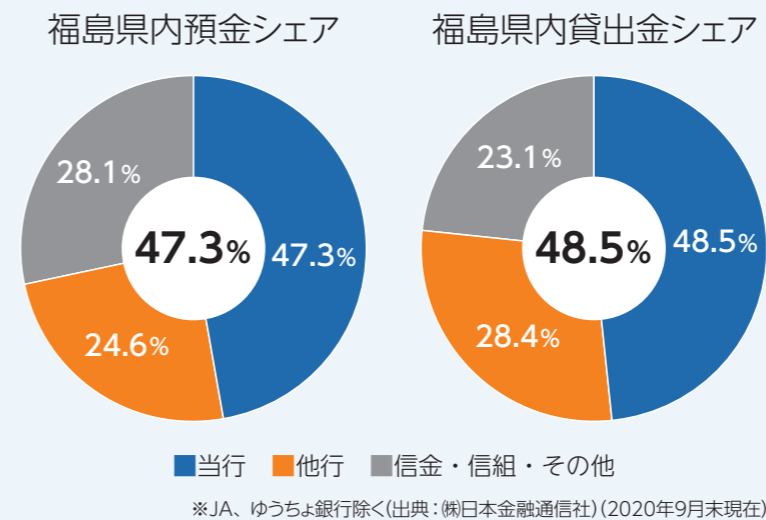
社会関係資本

■強固な事業基盤

充実した店舗網 (インターネット支店除く)

福島県 **105**か店 宮城県 **5**か店
東京都 **2**か店 茨城県 **2**か店 山形県 **1**か店
栃木県 **1**か店 新潟県 **1**か店 出張所 **4**か店

■福島県における圧倒的なお客さま基盤



当行をメインバンクとする企業

9,282社(シェア40.7%)
出典:帝国データバンク(2020年調査)

指定金融機関自治体数

32自治体 / **60**自治体(輪番制含む)

地方創生に関する連携協定を締結する自治体数

29自治体 / **60**自治体

人的資本

■多様性かつ高度な
金融知識を有する人材

事業承継M&Aエキスパート **678**名

FP1級/FP2級 **750**名

宅地建物取引士 **90**名

CFP/AFP* **46**名

女性役席者比率 **21.4%**

中小企業診断士 **20**名

障がい者雇用人数 **70**名

*CFP/AFP(Certified Financial Planner/Affiliated Financial Planner)…日本FP協会が運営するFP資格

事業エリアとお客さま基盤

福島県のステージは復興から持続的成長へ！

東邦銀行の主要な事業エリアである福島県は、東北の南部に位置し、「東北の玄関口」として東北新幹線や高速自動車道の交通アクセスに恵まれています。

福島県は2011年3月11日に発生した東日本大震災とその後の原子力発電所事故により、大きな被害を受けましたが、全国の皆さまからのあたたかいご支援などにより着実に復興の歩みを進めてきました。

福島県の産業データ

発達した交通ネットワーク		震災前('10年)	今の福島県
首都圏200km圏内に位置し、東北新幹線に加え、高速道路網や空港や港湾も充実	人口	人口(3月1日現在) 202万人	181万人('21年)
		合計特殊出生率(全国平均) 1.52 (1.39)	1.53('18年) (1.42)
	経済	県内総生産(名目)(東北平均) 7兆1,815億円 (5兆788億円)	7兆9,054億円('18年) (5兆7,213億円)
		有効求人倍率(全国平均) 0.42倍 (0.52倍)	1.25倍('20年) (1.18倍)
建設	公共工事請負金額	1,847億円	9,628億円('20年)
	新設住宅着工戸数	9,342戸	9,868戸('20年)
産業	製造	製造品出荷額等 5兆900億円 (東北1位)	5兆843億円('19年) (東北1位)
	農業	農業産出額 2,330億円	2,113億円('18年)
	農産物輸出货量	152トン	304トン('19年)

(出典：福島県「福島県の推計人口」経済産業省「2020年工業統計速報」)

TOPICS 1 常磐線全線開通

富岡駅と浪江駅の間で不通となっていたJR常磐線が2020年3月全線で開通→沿線の復興を後押し

TOPICS 2 相馬福島道路全線開通

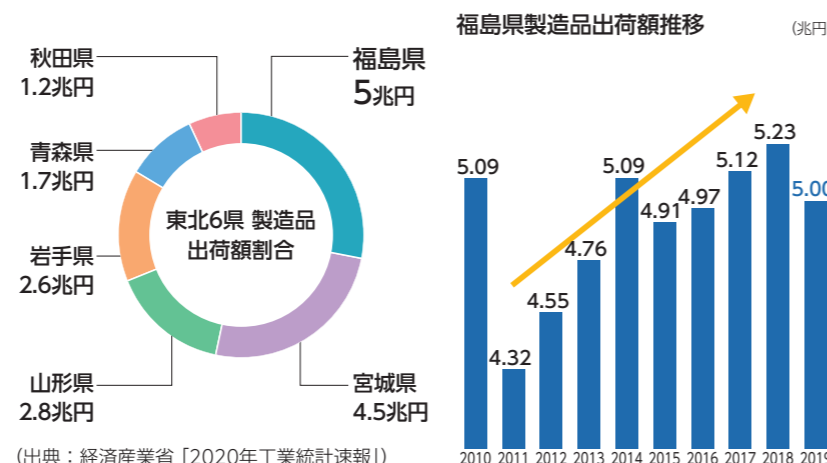
東北中央自動車道「相馬福島道路」が2021年4月24日に全線開通→相馬～福島間の整備により新たな広域ネットワークが形成され、さらなる交流人口の増加と活発な観光交流が期待される

製造品出荷額等

2011年から2020年までの10年間で福島県に立地した企業数は735社に上り、製造品出荷額等は震災前の水準を超えました。

「ふくしま産業復興投資促進特区」による税制優遇や補助金、展示会の開催、研究開発のバックアップなど全国トップクラスの支援体制で企業の成長を後押ししています。

(企業立地数は経産省工業立地動向調査より)



(出典：経済産業省「2020年工業統計速報」)

未来を創造する

福島イノベーション・コースト構想

被災地の復興と新たな産業を創出する「福島イノベーション・コースト構想」が国家プロジェクトとして展開され、ロボットや航空宇宙、医療関連分野などの研究開発、産業集積が進められています。

当行は、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構と連携協定を締結し、ビジネスマッチングや企業誘致、人材の確保と育成など本構想の推進に一体となって取り組んでいます。



TOPICS 1 会津地域における「ICT関連産業の集積」本格始動

2019年4月、首都圏からの新たな人の流れと雇用の場を創出し、若年層の地元定着や地域活力の維持発展に資するため、「スマートシティAiCT」(会津若松市)が開設されました。さらに同地域には、ICTを専門とした公共大学法人会津大学が立地しており、産学官連携や共同研究さらに人的交流への期待も大きくなっています。



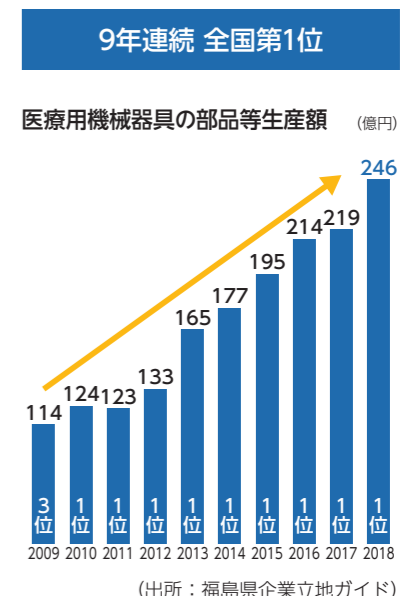
TOPICS 2 医療関連産業の集積

福島県は、2005年度より産学官連携による医療機器関連分野の集積を図るプロジェクトを進め、大手医療機器製造企業が数多く立地しています。医療用機械器具の部品等生産額は全国トップです。



(出典：経済産業省「2019年工業統計調査」)

(出典：厚生労働省「2019年業事工業生産動態統計調査」)



(出所：福島県企業立地ガイド)